

大分県PTA

地域の宝が輝く活動の進化

～保護者心得六箇条を活用し、家庭の教育力を高めよう～



あいさつする富永県P連会長

大分県PTA連合会

平成23年度

第63回 定期総会

時代を生き抜ける子どもに

はじめに富永大輔県P連会長は、東日本大震災被災地への義援金協力のお礼を述べ「社会は激動の中にあり、その中で、生き抜く子どもたちを育て

平成23年度大分県PTA連合会定期総会が6月3日、広瀬勝貞大分県知事(代理奥塚正典県総務部長)をはじめとする多数の来賓を迎え、県下16郡市等P連の代議員と被表彰者を含む約130名が出席して県教育会館で開催された。今、直面している課題への取り組みを踏まえ、PTA活動を通じて、会員相互とともに学び合い、子育てに関する意識を高める。また、家庭・学校・地域との連携も強め、未来を築く子どもたちの健全育成をめざすことを宣言した。

ことが求められている。県P連では「保護者心得六箇条」を配布。会員一人ひとりの意識の向上に活用してほしい。また、家庭・学校・地域の連携を図り、特色あるP活動を進める必要がある。一歩一歩着実に実践していきたい」とあいさつした。続いて、PTA活動に貢献

平成23年度の役員紹介

会長	富永 大輔	大分市
副会長	松永建比古	宇佐市
	有松 一郎	大分市
	三浦 圭二	佐伯市
	豊田 有里	豊後高田市
参事	野田 伸子	教師代表(小)
	池部 俊之	教師代表(中)
理事	加来 桂一	中津市
	川下 晃輝	豊後高田市
	後藤 智	別府市
	藤本 治郎	杵築市
	阿部 真二	日出町
利行	次男	国東市・姫島村
河野 美幸	白杵市	
児玉 隆志	津久見市	
指原 俊一	由布市	
工藤 賢稔	竹田市	
仙波 浩二	豊後大野市	
和田 浩二	日田市	
小幡 益広	玖珠郡	
小林 恭子	大分市	
吉岡 宏実	竹田市	
猪部よしの	杵築市(T)	
三浦 章嘉	大分市	
松尾 吉公	白杵市	
池内 晴一	竹田市	
相談役	藤田千克由	大分市

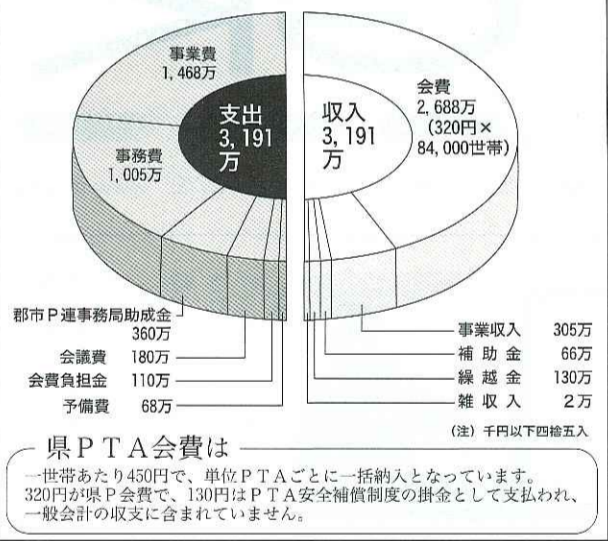


顕著な活動者の表彰

「時代の流れを見通し、子どもたちの明るい未来のために、子育て満足度日本一の実現を目指した施策を推進して

引き続き平成23年度の基本方針「スローガン・活動目標・事業計画案、収支予算案が出された。子どもの健全育成における家庭教育の充実では、子育ての基盤は家庭にあることを再認識。県P連「保護者心得六箇条」を活用し、会員一人ひとりが保護者としての役割・生活を振り返り、子育てとともに自分を高めるとしている。義務教育の振興では「中学校3年生学力診断テスト」の継続実施について、総会で提案、承認された後、県Pより県教育長へ要望するとなった。共済制度では、少子化による会員減少が予想されるが、

平成23年度一般会計予算



より安価で充実した保障を目指し平成25年度実施に向け平成24年度に準備・検討を行う。会則では、一部改正があり、いずれも拍手により可決承認された。役員改選について、選考委員よりその過程が報告され、富永大輔現会長が再選承認された。副会長の任命中に引き続き理事も承認され、体制が整った。議長団降壇後、旧役員のあいさつがあり、各々がP活動に対する思いや感謝の気持ちを述べた。新役員の紹介も引き続きあり、代表して富永会長が抱負を語り、総会は滞りなく終了した。

平成23年度の主な事業

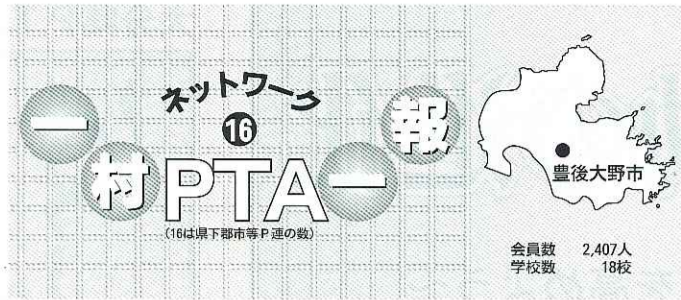
- 県P全単位PTA会長研修会 8月20日(土)・県教育会館 全体研修会
- 「こころは命の星」事業実践発表
- ミュージカル鑑賞 PTAもすてたんじやない」分散会研修(グループ討議等)
- ▼ 第59回日本PTA全国研究大会 ひろしま大会 8月26日(金)〜27日(土)
- ▼ 第56回九州ブロックPTA研究大会 北九州市大会 10月22日(土)〜23日(日)
- ▼ 県PTA指定研究校発表会(平成22・23年度)
 - 杵築市立杵築小学校P 11月12日(土)
 - 白杵市立上北小学校P 11月19日(日)
 - 大分市立東陽中学校P 11月27日(日)
- ▼ 研究校(平成23・24年度)
 - 日田市立朝日小学校育友会
 - 大分市立吉野小学校P
 - 由布市立湯布院中学校P
- ▼ 第20回県PTA研究大会 佐伯市大会 平成24年1月29日(日)

研心北

所属するNP O法人県書連は「一人が大切、みんなのため」を合言葉に発足した書道や書写教育を中心とした文化の普及を目的とする連合会だ。よって今回の東日本大震災に際して義援金受け付けを開始、今も続行中。「先生、これでいいかなあ」とすまなさそうな顔で20円を差し出した園児。貯金箱の全部と思う768円を抛出した小学生姉妹をはじめ会員の方々からの義援金は899350円(累計6/10現)。その都度、大分合同福祉事業団に▼イチローさんは1億円、楽天の三木さんはユニクロの柳井さんは10億円、孫さんは100億円とか!!社会的地位や立場で分相応の義援金はそれほども又良である。その純な心根から言え、20円や768円は100億円に勝るとも劣らない金額だ▼3/11の大災害は全日本が我事のように悲しみに打ち拉がれた。が戦後復興に尽力した吉田茂は「日本には何の資源もない。その国がここまで来たのはなぜか。ただ一つの資源があったからだ。日本人の勤勉性という資源だ」と。(致知 7月号) ▼森が燃えていました。森の生きものは、我れ先きにと逃げて行きました。でも、クリンディという名のハチドリだけは、行ったり来たり、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで、火の上に落とすして行きます。動物達は、それを見て「そんなことをして一体何になるんだ」と言って笑います。クリンディはこう答えました。「私は、私に出来ることをしているだけ」。(「ハチドリの一しずく」) 南米先住民に伝わるお話「これは小さな方の大切さを教えてくれる南米アンデス地方の古くて新しいお話です」



http://www.oita-pta.com/



明るく伸びやかに躍動・ さらに発展する市P連目指して

豊後大野市PTA連合会

祖母・傾山系の山岳地域と大野川流域の平坦地域からなる緑豊かな豊後大野市。

当市PTA連合会は小学校11校、中学校7校の17単位PTAと1育友会で組織され、子どもの健全育成と会員自らが研鑽する為、学校・地域や関係機関等との連携融合に、日々努めております。

「親父の和・環・輪」 熱く、強く、広く!

18校の全ての学校が保護者と一体になり取り組む中、とりわけ、父親部と位置づけて活動する学校が5校あり、今年度新たに立ち上げの準備を進めている学校もあります。

美化作業はもちろん、炭焼きと販売、グリーンカーテン

6月17日(金)、県P連幹部研修会が大分市コンパルホールで開催された。来賓として、法雲淳社会教育課長、後藤裕之主任社会教育主事を迎え、県内16郡市等の県P連理事、母親代表、事務局長の54名が出席した。



熱心に聞き入る参加者

平成23年度 県P連 幹部研修会

討議深まる懸案事項

各部会の課題を共通認識で

今年度も 活動の充実を

活動の充実を

本会は年に1回開催されるもので、各郡市等の幹部が一堂に会し研修を行うことで全体の意思統一を図るとともにリーダーとしての意識を高め合うことを目的としている。

理事会では、経過報告の後協議内容に入った。まず、既に提案済みの平成23年度の各種専門部会・特別委員会の設置と、それぞれの懸案事項について協議した。

- ・「総務・厚生部会」
- ・「新共済制度について(平成25年度実施に向けて準備・検討に入る)」
- ・「こは命の星募金」の活用について
- ・「保護者心得六箇条」について
- ・「教育・研修部会」
- ・「教育問題懇談会」の各郡市P連の要望事項の精査・決定について
- ・「全県単位PTA会長研修会」の計画・運営につ



PTAのあり方を考える研修

「PTA活性化は？」 合同研修会

・中学3年生学力診断テスト「継続実施の要望書提出について」

・「特別委員会」

・必要に応じて召集

その他、県P研究大会佐伯市大会や九P北九州市大会についての確認を行った。

作り、タイヤを使った遊具作り、ジャンボクリスマスツリーや門松作り等々、親父のパワーを結集した取り組みが成されています。積極的な参画により保護者同士が絆を深め、そのことが子どもへの健全育成、そして学校教育への充実へと展開されています。

実践の継続が 「点」から「面」へと

昨年度、市教育委員会は「学方向上推進協議会」を設立し、「学校・家庭・地域が三位一体(Tinity)」となり、改革・改善(Refom)を行い、子どもたちの夢(Dream)の実現を



門松作り(三重第一小学校)

目指し努力していきたくと思っております。

豊後大野市PTA連合会
事務局長
甲斐 真由美

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2 www.ms-ins.com



巧みな話術で興味深い講演会

「親としてよりよい子どもとの係わりを求めて」

母親部会では、講師に大分県立看護科学大学人間関係学研究室准教授の吉村匠平氏を迎え講演会が行われた。

母親部会 講演会

「親としてよりよい子どもとの係わりを求めて」

状態を理解することから始めよう」と次のように述べた。

「やる気」の 責め言葉

「苦手な教科の勉強が手につかない子どもに対し、意志が弱いから、計画性がないからと責めるのは、子どもの内側を責めているだけ。やる気がないのはあなたが悪いからと攻撃しても何も解決せず、意欲には結びつかない。」

「やる気」のための キーワード

「周囲からの働きかけがないにもかかわらずある行動が自発するのは『自己効力(達成

の時期をうまくやり過ぎさせるには、「特に、気に止めることもなかった」、「ちよつときつかったかな」などと親のさまざななかかわりがあると思えます。

「親」という字が、「木の上」に立って見る」と言われるように「見守る」というスタンスが大切でしょう。

前号の三行詩に見られたように、自立に向かう行動を受け入れる親の安定した姿勢が欠かせません。

「骨のある人」、「気骨」という言葉がありますが、そこまですりかかると、「心の骨づくり」の真つ最中、しつかり見守って行きましょう。

みんなで考えるコーナー

室長 岩尾 淳一

編集後記

「手を携えて育てよう」地域の宝が光り輝くために、自分自身を振り返り努力します。

▼「幹部研修会」「母親部会」に出席。熱心な参加者たちから大いに刺激を受けた一日。

みんなががんがえるコーナー

反抗期 どう接したらいいの? ②

「心の骨づくり」を見守って

私が中学生になった頃のむかし話。入学式の校長先生の式辞を思い出します。

「これからは、魚を食べる時、骨は、自分で探し出して食べねばなりません。」

これまで、何くれとなく手を貸して、甘えていた振舞いがいけないうという、挑戦的な教訓の一節です。

60年前ですが、印象強く今も残っているのは、相当な途感に直面したからでしょう。

しかし、まごつきながらもいろんな方々の支えを受けながら、自分なりの折りあいつくりの積み重ねが、いつのまにか時の経過につながついていくものだと思えてきます。

気持ちが揺れ動きやすいこ

何が必要か、今後の活動の見直しを提案した。

参加者は「非常にわかりやすかった。単P会長をしてきたがこのような研修会は初めて」などと感想を述べた。

感「自己決定(自分で決められる)」「関係性(人との係わり)」「満たされる時。つまりこの3つが削られるとやる気がなくなる。達成感が得られなければやる気はおきにくい(自己効力)ように、やる気のない状態をこの3つのキーワードに当てはめてみると、子どもに対しても何を補えばいいのか考えることができる。」

時折ユーモアを交えながらの講演は具体的でわかりやすく、参加者も興味深く聞いていた。